

立西巻き



尼崎市立立花西小学校
2026.5.27 (水)
No.11

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)

きよおわ、がこうへいきます

「きょうは、がっこうへいきます」と本人は書いているつもりです。日本語は、大変美しく、そしておずかしい。

5月号の学校だよりでお伝えしましたとおり、本校では、7年前より、多層指導モデル MIM の指導法を取り入れています。これは、国の機関が研究した指導法です。言葉のはじめの大きな壁を乗り越えるため、アセスメント結果をもとに、楽しく学ぶ指導法です。



①音を確かめる

②音を視覚化する

③音を動作化する

④音と文字を対応させる



正しいのは何番でしょうか。

①ほぺた ②ほぺった ③ほっぺた
大人になった今となっては、簡単。
これは、促音(ちいさな「つ」)が
ひとつはいった言葉です。

「しょうがっこう」これはどうでしょうか。
拗長音+促音+長音で組み合わせられた超超難問です。
これが、一回で書けるようになった日には、お家で
ごちそうを食べさせてあげてほしいくらいです。

「とうふ」は「とおふ」ではなくて、「とうふ」
「こおり」は「こうり」ではなくて「こおり」
なんで～????? なんでなの～??
どちらも「オ～」と声をのびしているのに、書き方がちがう!! もはや、言葉の事件レベルです。
どうか「とうふ」と「こおり」がきちんと書けた日には、お子様にとうふパーティとこおり祭を開いてあげてください。

大人になったら何となくわかってくると思っている特殊音節(小さな「つ」「や」「よ」のばす「う」「え」等)が実は、言葉の最初の壁なのです。時間をかけて指導していくものです。どうぞ、今度の参観日にお子様の教室掲示物等を確認してみてください。実は、そこにつまずきがあるかもしれません。

お尻も浮く 気合いの MIM-PM

学校では、1・2年生を対象に月1回の MIM-PM の日を設け、アセスメントを実施しています。

2種類35問の問題を1分間で解答します。2年生の中には、この時期で全問解ける児童がいます。

実際、やってみると大人でも25問いけば速いほうです。

はじめは、戻ってきた解答用紙をみて驚かれるでしょう。解いていない問題が多いはず。

でも、焦ってはいけません。現状把握のためのものです。先生方がここから、しっかりと指導していきます。

本校では、国語科の指導に力を入れています。多くの美しい日本語に触れさせてあげたいです。



どうぞ、お家では、かえってきた MIM-PM 結果をみて一緒に解き直しをしてみてください。国の研究機関が低学年に知ってほしい言葉がたくさん書かれています。どうぞ、楽しみながら学びを共に確認してあげてください。裏には、MIM-PM を載せています。1分間お尻が浮くくらい必死こいて、取り組む気持ちにきっと共感できるでしょう。

さて、先日、1年生と遠足に行きました。大井戸公園です。歩きながら見える六甲山系をみて、私に質問がありました。

「こうちようせんせい。どうして、ろっこうさんはやまなのに、さんっていうのかな。」これから、漢字を学んでいく彼もある日「ああ、ろっこうさんはろっこう山なんだ!」とストンと納得の日がくるのでしょう。毎日毎日新しい学びがある子ども達。

応援し続けたいと思います。

